

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準 4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない 3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる ・全国学力学習状況調査でよい結果がでているのは、学校が目標を定めてよく学力向上によく取り組んでいることがわかる。 ・校種間の連携は、うまくいっていると思う。 ・さらに校区内の福祉施設との交流も積極的に推進していくことを期待する。	3.7
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る ・自尊感情を育てるためには、子ども達に様々な体験をさせることが不可欠である。本校の児童にも、保護者との連携をさらに深めて様々な体験や経験をする機会を与えていくべきである。 ・基本的生活習慣の定着は、学校と保護者の連携が密でないと難しい側面がある。さらに、保護者に協力を求めていかねばならない。	2.9
3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む ・食育については、学校全体で、よく取り組めている。たとえば、学校保健委員会においても、食の大切さについて講話があつた。今後も推進していただきたい。	3.1
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る ・学校の実施している訓練等については、実施回数のこともあり、現状のままでよいと思うが、今後は、地域の方々を交えての訓練もぜひ、実施していただきたい。 ・安全確保は、子どもをもつ親として、最も興味関心のあるところです。人災・天災なども含め、一定の取り組みを望みます。	3
5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む ・年度末の保護者アンケートの回収率がやや低いと思う。さらに、回収率が高くなることを望む。 ・HPの更新頻度も高く発信力もあると思います。	3.4
■教育目標 ・全国学力調査学習状況の結果が反映されており、一定の成果があるものと考えます。さらに伸長させていただければ有り難いです。	3
■研究テーマ ・一定の成果が出ていると思う。このまま、推進していただきたい。	3.3
評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B